

国語科 第3学年 シラバス

1 年間のねらい・到達目標

これからの社会に必要なコミュニケーション力を養うために、自分の考えや思いを適切な表現で伝えたり、相手の考えや思いを正確に受け止め、理解したりする力を育てる。また言語能力を高めることで、想像力や表現力を豊かにし、今まで以上に読書を楽しんだり、自分の考え方を広げたりすることができるようにする。

2 指定教科書

国語	第3学年	教科書（出版社）	・現代の国語（三省堂）
		副教材	・積み上げ 国語3年（明治図書） ・単元別漢字 3（秀学社） ・東京都ベスト（新学社） ・国語便覧（浜島書店） ・中学書写（光村図書）

} 3年間継続して使用

3 学習到達目標

- ・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、国語を尊重しようとしている。
- ・目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けている。
- ・目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けている。
- ・目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けるとともに、読書を通して自己を向上させようとしている。
- ・伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく整えて書いている。

4 学習の進め方

授業の中では、言葉を手がかりにして課題に対する自分の考えを深める時間をとります。その時間に自分の意見をじっくりと考え、自分の言葉で伝えるために表現の仕方を工夫する必要があります。まずは、諦めずに考えて書いてみましょう。授業内での発表・共有を通して、他の生徒の言葉や先生の補足から言葉の使い方や表現力を高めることもできます。

宿題はただこなすのではなく、学習目標を振り返って意識的に取り組むだけでも変わります。また、テストはただ結果を出すためだけにあるのではなく、今の自分がどれくらい理解できているかを確認するものです。問題を解いたら終わりではなく、できなかったところを確認し、できるようにすることが大切です。分からなかった所は友だちや先生に質問し、先延ばしにしないようにしましょう。

5 年間シラバス（1年間の学習予定）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補充学習
1 学 期	学びの扉をひらく ・水のようなひと ・間の文化 かかわりを捉える ・握手 ・小論文 ことばを磨く ・俳句の世界/俳句十句 ・ブックトーク ・花や咲く咲く ・文法（復習） ・書写	・表現の工夫に注意しながら読める。 ・論理の展開に注意して主張を読める。事例の提示の仕方を捉えたうえで自分の意見を考えられる。 ・人物像を的確に捉えられる。 ・論理の展開や引用の仕方を工夫して書ける。 ・きまりや特徴を理解して内容を捉えられる。作品についての意見や感想、評価を述べるができる。 ・場や相手に応じて話の内容を構成し、工夫できる。 ・目的に応じて読み、知識を広げたり自分の考えを深めたりすることができる。 ・これまで習った文法事項を理解している。 ・文字の大きさやバランスに注意して書いている。	【関心・意欲・態度】 ・授業に取り組む態度 ・ノートやプリント類の提出状況 【話す・聞く能力】 ・聞き取りテスト ・各種課題への取り組み（暗唱、朗読、話し合い活動等） 【書く能力】 ・定期考査 ・各種課題の文章表現（小論文、批評文、鑑賞文、ノート記述の内容等） 【読む能力】 ・定期考査 【言語についての知識・理解・技能】 ・定期考査 ・小テスト ・書写作品（毛筆・硬筆等）
2 学 期	多角的に考える ・フロン規制の物語 ・企画会議 古典に学ぶ ・和歌の世界 ・おくのほそ道 ・論語 情報を読み解く ・情報社会を生きる/ 新聞記事を読み比べよう ・批評文 読みを深め合う ・初恋 ・故郷 ・文法（復習） ・書写（書き初め） ・受験にむけて	・展開の仕方などについて意図や効果を捉えることができる。 ・表現を工夫し、説得力のある発言ができる。話し合いを効果的に展開することができる。 ・詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を読み取れる。形式や表現の特徴を捉えている。 ・作者のものの見方や考え方を捉えている。 ・漢文の響きやリズムに注意しながら読むことができる。 ・語句の効果的な使い方を捉えている。 ・自分の立場を明確にし、論理展開を工夫して書くことができる。 ・詩の形式を踏まえて朗読し、作者の思いを捉えている。 ・場面や登場人物の設定の仕方を捉えて読める。自分の考えをもつことができる。 ・これまで習った文法事項を理解している。 ・文字の大きさやバランスに注意して書いている。	【書く能力】 ・定期考査 ・各種課題の文章表現（小論文、批評文、鑑賞文、ノート記述の内容等） 【読む能力】 ・定期考査 【言語についての知識・理解・技能】 ・定期考査 ・小テスト ・書写作品（毛筆・硬筆等）
3 学 期	広がる世界へ ・「文殊の知恵」の時代 ・ワールド・カフェ ・坊っちゃん ・中学校生活を振り返って ・文法 ・受験に向けて ・百人一首	・筆者の主張を捉え、身近な例や報道の例に目を向けながら内容を理解できる。これからの社会について考えることができる。 ・分かりやすい表現を使ったり聞き手に問いかけたりしながら話すことができる。 ・語句の使われ方に注意して読み、考えを深めることができる。 ・聞き取った内容からものの見方や考え方を深めることができる。目的や課題に応じて文章を集め、効果的で適切な構成を工夫することができる。 ・これまで習った文法事項を理解している。	【書く能力】 ・定期考査 ・各種課題の文章表現（小論文、批評文、鑑賞文、ノート記述の内容等） 【読む能力】 ・定期考査 【言語についての知識・理解・技能】 ・定期考査 ・小テスト ・書写作品（毛筆・硬筆等）

授業進度や内容は状況によって変更する場合があります。

社会科 第3学年 シラバス

1 年間のねらい・到達目標

社会に対する関心を高め、多くの情報・資料から考えをめぐらせ、日本の国土と歴史についての理解を深める。さらに、国際社会主体的に生きるために、平和で民主的な国家・社会の一員としての必要な資質と教養を身に付ける。

2 指定教科書

社会科 教科名	3 学年	教科書名（出版社）	中学社会歴史 未来をひらく（教育出版） 新しい社会公民（東京書籍）
		副教材	グラフィックワイド歴史（とうほう）

3 学習到達目標

- 日本の歴史（歴史的分野）、現代の政治、経済、国際政治（公民的分野）について理解し、これまでの既習の知識と関連付けて深く考えられるようにする。
- よりよい社会を旨として、他国や他国の文化を尊重する態度を養う。
- 様々な情報を調べたりまとめたりする力を身に付ける。
- 社会で起こるできごと、社会で見られる課題の解決に向けて考察し、資料等を用いて説明したり、意見を伝え合ったりする力を養う。

4 学習の進め方

既習の知識や予習した内容を小テスト等で確認しながら、生徒の考えや意見をもとに授業をひろげ、進めていく。また、単元ごとに互いの知識や考えを深め、発展させる時間を設ける。疑問に思ったことや課題について調べたりまとめたりしたことを発表し合い、議論することで、思考力・判断力・表現力を身に付ける。

予習では、歴史は次の時間に起こるできごとやそこで出てくる人物を確認し、前時で学んだこととの繋がりを見つけられるとよい。公民は、その単元で学習していることと関連するニュースや身近なできごとを見つけ、わからない言葉は自分で調べてくるようにする。また、調べたりまとめたりするときには、自分の考えを根拠にもとづいて書くことを意識できるとよい。

5 年間シラバス（1年間の学習予定）

学期	学習内容・項目		学習のポイントと到達目標	評価の観点と補充学習
1学期	地理	7節 北海道地方	<p>学習のポイント 気候や位置などの既習事項と資料を使い、地域的特色を読み取る。</p> <p>到達目標 北海道地方の地域的特色を、課題プリントを使って産業・交通・通信を中心に理解する。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>小テスト 定期考査 課題プリント</p> <p>【思考・判断】 【技能・表現】</p> <p>授業プリント 授業内活動</p> <p>【知識・理解】</p> <p>小テスト 定期考査</p> <p>【補充学習】</p> <p>課題で出す予習 小テストで 達成度確認</p>
	歴史	第6章-2,3 第7章-1	<p>学習のポイント 明治時代から昭和に入るまでの流れを理解し、日本の国際的な立場やその変化を意識しながら授業に臨む。</p> <p>到達目標 ●「日清・日露戦争と日本の国際的地位の向上」「第一次世界大戦の背景とその影響」を理解する。●日本の産業革命について、経済の変化と人々の生活の変化との関りについて多面的・多角的に考察し、表現できる。</p>	
	公民	第1章	<p>学習のポイント 教科書に出てくる言葉を、自分の身近な事象と結び付けて考える。</p> <p>到達目標 ●少子高齢化、情報化、グローバル化と、それらの政治や経済への影響に気づく。●対立と合意、効率と公正について理解する。</p>	
2学期	歴史	第7章-2,3,4	<p>学習のポイント 第二次世界大戦前後の世界の動きを、地図上の位置や国どうしの繋がりを意識して見る。</p> <p>到達目標 ●「第二次世界大戦の背景と影響」「戦後の日本の諸改革と発展」を、世界の動きと合わせて理解する。●この間に起きた戦争を多面的・多角的に考察し、その過程や影響を自分の言葉で表現できる。</p>	<p>【補充学習】</p> <p>課題で出す予習 小テストで 達成度確認</p>
	公民	第2章～ 第4章-1,2	<p>学習のポイント 「憲法と人権」「地方政治」について、身近な例を基に考える。</p> <p>到達目標 ●「憲法と人権」「民主政治」について、その意義や内容を理解する。●地方自治について、自分の住んでいる町と関連付けて理解する。●流通の仕組みを理解し、経済について多面的・多角的に考察する。</p>	
3学期	公民	第4章-3,4,5 第5章	<p>学習のポイント ●様々な立場にたって、経済をしてみる。●ニュースと既習の学習内容を結び付ける。</p> <p>到達目標 ●経済を「消費者」「生産者」それぞれの立場で見て考え、市場経済について理解する。●日本や世界が抱える諸課題について主体的に考え、解決しようという態度を養うとともに、他の意見を参考にしながら自分の考えをもつことができる。</p>	

数学科 第3学年 シラバス

1 年間のねらい・到達目標

代数・関数・幾何・統計に関する基礎的な原理・法則についての理解を深め、事象を数理的に考察し、表現する能力を高め、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感しながら、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てること。

2 指定教科書

数学	3年	教科書名（出版社）	未来へひろがる 数学 2 （啓林館） 未来へひろがる 数学 3 （啓林館）
		副教材	わかる数学 3 （学宝社） 3年間の総まとめ問題集（新学社）

3 学習到達目標

- ① 数学的な事象に関心をもつとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を活用して考えたり判断したりしようとする。
- ② 事象を数学的にとらえて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。
- ③ 事象を数量や図形などで数学的に表現し処理する技能を身に付けている。
- ④ 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けている。

4 学習の進め方

- 日々の授業では「聴く」「書く」「考える・解く」場面の切り替えをする。
- “なぜ”と思う気持ちを大切に授業や学習に取り組む。
- 根拠を基に筋道立てて説明したり、表現する。
- 答えが出ても、別解やより簡単に解くことができないかを探求する。
- 結論を急がず、じっくり考え、根拠を明確にする。
- 翌日の授業または翌週の授業の予習をする（定義、性質、例題など）。
- 問題集は3周以上取り組む。1周目で何ができて何ができないかを知る。2周目以降はできなかったところだけを取り組み、できるようになるまで繰り返す。最後にもう一度全て解き直す。

5 年間シラバス（1年間の学習予定）

学 期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と 補充学習
1 学 期	2年6章「確率」 ①起こりやすさと確率 ②確率の求め方 ③いろいろな確率	○場合の数をもとにして、樹形図や二次元表を利用しながら確率を求める方法を考えることができる。 ○場合の数をもとにして、確率を求めることができる。	【関心・意欲・ 態度】 副教材の提出 予習ノート テスト後アン ケート レポート 【知識・理解】 【技能】 定期考査 小テスト 単元まとめ（復 習）テスト 【見方・考え 方】 定期考査 レポート
	8章 「標本調査」	○標本調査の考えを利用して個数を推測することができる。	
	1章「式の展開と因数分解」 ①式の展開と因数分解 ②式の計算の利用	○式の意味を読み取ったり目的に応じて変形して数量の関係や図形の性質を捉えることができる。 ○問題を解決するために式を展開したり因数分解したりすることができる。	
	2章「平方根」 ①平方根 ②根号を含む式の計算 ③平方根の利用	○身のまわりから平方根を利用して問題を解決することができる。 ○根号をふくむ式の計算や有理化などの変形が手際よくできる。	
	3章「二次方程式」 ①二次方程式 ②二次方程式の利用	○二次方程式を利用して問題を解決することができる。 ○手際よく二次方程式を解くことができる。	
2 学 期	4章「関数 $y=ax^2$ 」	○身のまわりの事象の中から関数を見出し、その性質を利用して問題を解決することができる。 ○関数 $y=ax^2$ の式やグラフ、変化の割合を的確に表すことができる。	
	5章「図形と相似」	○身のまわりの事象の中から相似な関係を見出して問題を解決することができる。 ○相似な図形の性質、平行線の性質を用いて手際よく問題を解決することができる。	
	6章「円の性質」	○与えられた図形の中に円を見出して、性質や定理を用いて問題を解決することができる。 ○円の性質や定理を利用して手際よく角の大きさを求めることができる。	
3 学 期	7章「三平方の定理」	○三平方の定理を用いて平面図形や空間図形の性質を導くことができる ○三平方の定理を用いて辺の長さを手際よく求めることができる	
	3年間の総復習		

理科 第3学年 シラバス

1 年間のねらい・到達目標

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- (2) 観察・実験などを進んで行い、科学的に探究する力を身につける。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を身につける。

2 指定教科書

教科名	学 年	教科書名（出版社）	新しい科学（東京書籍）
		副教材	理科ノート・理科の自主学習（新学社） 理科便覧（浜島書店） 三年間の復習問題集（学宝社）

3 学習到達目標

① 生命の連続性

生命の連続性についての観察、実験などを通して、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。生命の連続性について、実験の結果や資料を分析して解釈し、生物の成長と殖え方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現する。

② 地球と宇宙

身近な天体の観察、実験などを通して、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。またその結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する。

③ 自然と人間

自然環境を調べる観察、実験などに関する技能を身に付ける。身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断する。

④ 運動とエネルギー

運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その技能を身に付ける。その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現する。

⑤ 化学変化とイオン

化学変化についての観察、実験などを通して、観察、実験などに関する技能を身に付ける。化学変化をイオンのモデルと関連付けながら解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する。

⑥ 科学技術と人間

科学技術と人間との関わりについての観察、実験などを通して、観察、実験などに関する技能を身に付ける。日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、実験の結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断する。

4 学習の進め方

理科の授業は実験を中心に進めていきます。積極的に授業に参加していきましょう。その日の授業で学習したことをその日のうちに見直し、学習した内容を整理しておきましょう。授業の内容で

興味・関心をもったことやどうやって学習すればよいかなど、教科担当の教員に積極的に質問すると教科書には載っていないより詳しい内容や、学習のヒントになることをたくさんアドバイスしてくれより楽しく学ぶことができますと思います。思考力・判断力・表現力を高めるには授業中に先生から出された質問について(問題や課題なども含めて)、「こうかもしれない。」という自分なりの答えを必ず出してみましょう。まず、自分の考え(仮の答えを持つ)ということがとても重要で様々な力をつける原動力になります。家庭学習では「復習」を意識して学習を進めてください。世の中起きていることに興味を持つことも知識の幅が広がり良いことです。

5 年間シラバス(1年間の学習予定)

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補充学習
1	天体 電流とそのはたらき 化学変化とイオン	金星の観察(宵の明星の観察) 電流と磁界 ・2年生の範囲の最後の部分です。電流と磁界の関係、電磁誘導などを学びます。 1 水溶液とイオン 2 化学変化と電池 3 酸、アルカリとイオン ・物質が水にとけたときに水溶液中に起こる変化から、イオンができることを学習します。電池や酸・アルカリもイオンが関係していることを学びます。	・年間を通じて次の4つの観点で評価します ①自然現象への関心・意欲・態度 ②科学的な思考・表現 ③観察・実験の技能 ④自然現象についての知識・理解
2	運動とエネルギー 地球と宇宙	1 物体のいろいろな運動 2 力の規則性 3 エネルギーと仕事 ・様々な運動を調べるなかで、その規則性やエネルギーについて学びます。 1 宇宙の広がり 2 地球の運動と天体の動き ・地球は宇宙の中のたった一つの天体です。私たちの地球の周りに広がる広大な宇宙について学びます。	・評価する材料は次の通りです。 ・授業への取り組みやその態度 ・提出物 ・定期テスト ・実験器具の操作技能 ・実験レポートの内容 ・ワークシートの内容
3	復習	3 月と惑星の見え方 ・月や惑星の学習をします。5月に宵の明星の金星の観察を実施します。 三年間の学習内容総復習	年間を通じて同じです
通年	生命の連続性 地球と私たちの未来のために 復習	1 生物の成長と生殖 2 遺伝の規則性と遺伝子 ・細胞分裂によって生物は仲間を増やすことを学習します。 1 自然の中の生物 2 自然環境の調査と保全 3 自然の恵みと災害 4 科学技術と人間 5 持続可能な社会 ・三年間に学んだことをまとめる学習です。自然について総合的に考えます。 三年間の学習内容総復習	年間を通じて同じです

英語科 第3学年 シラバス

1 年間のねらい・到達目標

英語を用いて、場面に応じて適切に情報や考えなどを伝え合う。

英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解し、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。

2 指定教科書

英語科	3年	教科書名（出版社）	NEW HORIZON English Course（東京書籍）
		副教材	「新 英語のワーク」（明治図書） 「3年間の総整理問題集」（正進社） 「観点別評価ダブルプリント」（新学社）

3 学習到達目標

○社会的な話題について聞き、短い説明の要点を理解することができるようにする。

○社会的な話題に関する文章を読み、中心となる事柄の文章の大切な部分を捉えることができるようにする。

○社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。

4 学習の進め方

●予習として、予告されたユニットの新出単語をノートに書いておく。意味も調べておくと、授業でのノートまとめをさらにスムーズに行うことができるので、意味調べにも取り組んでほしい。

○教科書で取り上げられている話題（国際的な話題や問題、文化、将来の展望など）に興味をもつ。

○授業で英語を話すこと、書くことに積極的に取り組み、表現する力を伸ばす。

○長い英文を読み、正しい英文を書けるようになるために、英文法を理解する活動に取り組む。

●復習として、その日に学習したユニットの内容をノートに日本語でまとめる。ワークで文法事項の確認を行う。

5 年間シラバス（1年間の学習予定）

学期	学習内容・項目	●学習のポイント ○到達目標	▲評価方法 △補充学習
1学期	[Unit0,1] Pop Culture Then and Now	●受動態の用法を理解し、表現する。 SVOCの文型を理解し、表現する。 ○あることについて、違う視点から述べることができる。/気持ちや状態の変化を表すことができる。/ある作品を適切な視点から紹介することができる。	▲提出物、小テスト △ワークの基本・発展のページに取り組む。/意味を考えながら音読練習をする。
	[Unit2] From the Other Side of the Earth	●現在完了形（継続）の疑問文と答え方を理解する。/be動詞と一般動詞の過去分詞形を理解し、活用する。 ○これまでずっと続いていることについて述べるすることができる。	▲提出物、単元テスト、定期テスト △ワークの基本・発展のページに取り組む。/音読練習をする。

	[Unit3] Fair Trade Event	<ul style="list-style-type: none"> ●現在完了形（経験）の疑問文と答え方を理解する。/不定詞の原因を表す副詞的用法を理解する。 ○これまで経験したことや、すでに終えていることについて述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ▲提出物、単元テスト、定期テスト △ワークの基本・発展のページに取り組む。/音読練習をする。
2 学 期	[Let' s Read1] A Mother' s Lullaby [Unit4] To Our Future Generation [Unit5] Living with Robots For or Against [Unit6] Striving for a Better World [3年間の総復習]	<ul style="list-style-type: none"> ●物語を読んで場面の变化や登場人物の心情などを理解する。 ●長文を読み、概要を理解する。 ○to+動詞の使い方を使って、人にとって必要なことや人にしてほしいことを述べる。/やり方やすべきことについて述べるができる。 ●現在分詞/過去分詞の使い方を理解する。 ○間接疑問文の意味と使い方を理解する。 ○人やものについて情報を加えて説明することができる。 ●関係代名詞の主格と目的格の用法を理解し、表現する。 ○詳しい情報を加えながら、知っている人やものについて尋ねたり伝えることができる。 ●3年間で学習した文法や既習の語彙を確認する。 ○既習の文法や語彙を用いて文章を読み取ったり、表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ▲音読テスト、単元テスト ▲単元テスト、定期テスト △ワークの基本・発展のページに取り組む。/音読練習をする。 ▲提出物、単元テスト、定期テスト △ワークの基本・発展のページに取り組む。 ▲提出物、小テスト、単元テスト、定期テスト △ワークの基本・発展のページに取り組む。 ▲提出物、小テスト △「総整理問題集」使って、既習の文法を再確認する。
3 学 期	[Let' s Read2] The Green Day [Let' s Read3] An Artist in the Article [3年間の総復習] [Presentation]	<ul style="list-style-type: none"> ●物語を読んで、場面の变化や主な内容を読み取ることができる。 ●伝記を読んで、人物の生き方や思いを時系列に沿って整理しながら読み取ったり、本文の要約をすることができる。 ●3年間で学習した文法や既習の語彙を再確認する。 ○既習の文法や語彙を用いて文章を読み取ったり、表現することができる。 ●これまで取り組んできたこと、これからしたいことについて5文以上で発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ▲定期テスト ▲定期テスト

音楽科 第3学年 シラバス

1 年間のねらい・到達目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2 指定教科書

音 楽	3 学 年	教科書名（出版社）	中学生の音楽2・3下（教育芸術社）音楽のおくりもの（教育出版）
		副教材 ※3年間使用	ミュージックノート（正進社） コーラスフェスティバル（正進社）

3 学習到達目標

楽しく、主体的に音楽活動に取り組み、基礎的な音楽表現の技法を学びながら、音楽の多様性、豊かさを感じ取る。

4 学習の進め方

- ① 授業の取り組み方…音楽に関心を持ち、主体的に学習内容に取り組む。
- ② 定期考査への取り組み方…学習した内容をプリントや副教材を活用し、繰り返し復習する。
- ③ 理解、取り組みが不十分な生徒への助言…協働的な学習方法や様々なアプローチによる学習内容の提示によって行う。
- ④ 評価について…主体的に学習に取り組んでいる。表現活動、鑑賞活動において、創意工夫をもって取り組んでいる。学習内容が定着し、表現できる。

5 年間シラバス（1年間の学習予定）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補充学習
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌三部合唱（表現） ・箏を味わおう（表現） ・ブルタバ（鑑賞） 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な歌唱表現を身に付け、歌詞の内容を理解し、主体的に授業に取り組む。 ・日本の伝統音楽に親しみ、音楽の多様性に関心を持ち、伝統音楽への理解を深める。 ・音楽を構成する要素を理解し、それに基づいて楽曲の鑑賞批評文を書くことができる。 	<p>「関心・意欲・態度」 授業観察、定期考査、ワークシート、実技テスト</p> <p>「音楽表現の創意工夫」 定期考査、ワークシート、実技テスト</p> <p>「音楽表現の技能」 実技テスト</p> <p>「鑑賞の能力」 ワークシート、定期考査</p>

2 ・ 3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・信じる（表現） ・混声三部（もしくは四部）合唱曲（表現） ・早春賦（鑑賞） ・ロマン派、現代の音楽（鑑賞） 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な歌唱表現の技能を身に付けるとともに、音楽を構成する要素を理解、意識して音楽表現に取り組む。 ・ハーモニーの構成を理解するとともに、その美しさ、豊かさを感じ取って、音楽活動を主体的に取り組む。 ・日本に伝わる伝統的な楽曲の由来、構成を理解し、その良さを楽しむ。 ・音、音楽がもつ要素を理解し、鑑賞批評文を書くことができる。 	<p>「関心・意欲・態度」 授業観察、定期考査、ワークシート、実技テスト</p> <p>「音楽表現の創意工夫」 定期考査、ワークシート、実技テスト</p> <p>「音楽表現の技能」 実技テスト</p> <p>「鑑賞の能力」 ワークシート、定期考査</p>
-----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

美術科 第3学年 シラバス

1 年間のねらい・到達目標

美術作品や文化遺産などに対する見方や感じ方を深めたり、主体的に美術活動に取り組み制作の喜びを味わったりすることによって、自分の生活を豊かにできる力を養う。

2 指定教科書

美術	3	教科書名（出版社）	美術上・下（日本文教出版）
	学 年	副教材	美術の表現と鑑賞・アクリルガッシュセット<1年時に購入> ○パソコンデータ転写マグカップ（ひかり工芸） ○アートガラスセット（ひかり工芸）

3 学習到達目標

主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わう。また、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。

4 学習の進め方

- ① 授業の取り組み方・・・美術に関心を持ち、説明を聞いたり積極的に制作ができたりにするようにする。また、自主的に準備や片付けができるようにする。
- ② 定期テストへの取り組み方・・・学習した内容をプリントや資料集を活用し、繰り返し復習する。
- ③ 理解が不十分な生徒への助言・・・わからないことが質問できるような環境を作り、個別に対応する。また、昼休みや放課後などに補習授業を行う。
- ④ 評価について・・・積極的に制作する。丁寧に制作する。提出期限を守る。自主的に準備や片付けをする。積極的に説明を聞く。忘れ物をしない。

5 年間シラバス（1年間の学習予定）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補充学習
1 ・ 2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・透視図法学習 「1点透視図」 「2点透視図」 （アイデアスケッチ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・透視図法について興味を持ち、意欲的に学習することができる。 ・1点透視や2点透視の表現を楽しんで取り組むことができる。 ・透視図法を理解し、自分なりの形を表現することができる。 ・デザインの工夫ができる。 ・1点透視や2点透視を正しく描くことができる。 ・定規やコンパスなどの道具を使い、丁寧に美しくデザインできる。 ・透視図法を用いてデザインすることができる。 ・見て感じ表現することの素晴らしさを味わうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「関心・意欲・態度」 観察、テスト、準備、片づけ 忘れ物、提出期限 「発想や構想の能力」 作品、アイデアスケッチ 「創造的な技能」 作品、ワークシート、 実技テスト 「鑑賞の能力」 観察、テスト、鑑賞カード

	<ul style="list-style-type: none"> 西洋美術史の鑑賞授業「印象派」 	<ul style="list-style-type: none"> 作品や作家について興味を持ち意欲的に学習することができる。 プリントやスケッチブックに自主的に話の内容をメモできる。 名画や名品などの素晴らしさを味わうことができる。 	
2 ・ 3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> パソコンによる透視図デザイン（マグカップ） 	<ul style="list-style-type: none"> 1点透視や2点透視の表現を楽しんで取り組むことができる。 パソコンの絵画機能に興味を持ち、意欲的に制作することができる。（インターネットで遊んだり、関係のないことをしたりしているかチェック） 自主的に準備、制作、片づけができる。 デザインの工夫ができる。 パソコンの機能を理解し、色彩などの工夫ができる。（機能を使って色を作ったり、グラデーションや写真合成など工夫したり） アイディアスケッチをもとに、細かいところまで正しく美しい線でデザインを描くことができる。 パソコンの機能を利用し効率よくデザインを線で描くことができる。 見て感じ表現することの素晴らしさを味わうことができる。 自他の作品の良さや工夫に気づき、お互いを認めあえる。 	<p>「関心・意欲・態度」 観察、テスト、準備、片づけ忘れ物、提出期限</p> <p>「発想や構想の能力」 作品、アイディアスケッチ</p> <p>「創造的な技能」 作品、ワークシート 実技テスト</p> <p>「鑑賞の能力」 観察、テスト、鑑賞カード</p>
	<ul style="list-style-type: none"> アートガラス 	<ul style="list-style-type: none"> アートガラスについて興味を持ち、意欲的に制作することができる。 自主的に準備、制作、片づけができる。 イメージを考えながら、デザインを工夫することができる。 スクラッチや黒を基調とした色彩の工夫ができる。 丁寧にデザイン（アイディアスケッチ）を描くことができる。 ニードルを使いこなし、美しくスクラッチすることができる。 デザインのイメージ通りに美しく彩色することができる。 	

保健体育科 第3学年 シラバス

1 年間のねらい・到達目標

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、知識や技能を高め、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにする。
- 運動を適切に行うことによって、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、心身の調和的発達を図る。
- 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲を育てるとともに、健康安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。
- 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2 指定教科書

教科	学年	教科書名（出版社）	中学 保健体育（大日本図書）
		副教材	実技：ステップアップアップ（大修館書店） 保健・体育理論：保健学習ノート（正進社）

3 学習到達目標

- これまで身に付けた運動を行う上での知識や技能を高めることができる。
- 目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。
- グループの課題などの話し合いなどで、自らの意思を伝えたり、仲間の意見を聞き入れたりすることを通して合意形成を図ろうとするなどの意思をもつことができる。
- 自分や仲間のことをけがや事故の危険性最小限にとどめるなど健康・安全を確保できる。
- 心身の健康の保持増進に関する基礎的・基本的な内容について科学的に思考し、理解できる。

4 学習の進め方

〔主な授業の進め方〕

- 安全確保のため、集団行動、規律を基本とした体育分野の授業を行う。
- 体育係や体育委員を中心とした授業の導入を行う。（準備運動やランニングなど）
- 単元によっては男女共習で授業を進める。

〔思考力・判断力・表現力の育成方法〕

- グループ学習やペア学習などによる話し合い活動
- 学習カードによる授業の振り返りや技能の考察
- 作戦、フォーメーションなどの発表による表現活動。

〔望ましい家庭学習〕

- 配布課題への習慣的な取り組み
- 副教材を活用した自主学習。（既習単元の振り返りや課題と解決策の整理）
- 定期考査前の復習。（学習カードを中心に各種目基本知識や技能のポイントなど）

5 年間シラバス（1年間の学習予定）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補充学習
1	体づくり運動	ねらいや体力に合わせて運動を組み合わせている。	〔関心・意欲・態度〕 授業観察 自習課題 提出物 発表 〔思考・判断〕 学習カード 自習課題 家庭学習 定期考査 発表
	陸上競技 （短距離走）	運動の特性や魅力、専門用語や行い方などの知識と基本技能の習得。滑らかな動きで速く走ることができる。	
	陸上競技 （走り幅跳び）	運動の特性や魅力、専門用語や行い方などの知識と基本技能の習得。リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。	
	球技 （ゴール型）	運動の特性や、魅力、技術の名称や行い方などの知識と基本技能の習得。基本的なボール操作と仲間と連携した動きができる。	
保健 （健康な生活と疾病の予防）	健康の成り立ちと疾病予防、生活行動・生活習慣と健康等についての知識の習得。より良い過ごし方について考え伝え合うことができる。		
2	体づくり運動	動きを高めるための運動の実践を通して、リズムカルな動きや力強い動きを持続することができる。	〔技能〕 計測記録 フォームテスト 授業観察 〔知識・理解〕 授業観察 学習カード 定期考査
	陸上競技 （リレー）	タイミングの良いバトンパスができる。課題に応じて練習を工夫することができる。	
	球技 （ネット型・ゴール型）	運動の特性や、魅力、技術の名称や行い方などの知識と基本技能の習得。基本的なボール操作と仲間と連携した動きができる。	
	陸上競技 持久走	自己に応じたペースを維持することができる。速く走ることができる。	
	保健 （健康な生活と疾病の予防）	喫煙、飲酒、薬物乱用と健康、感染症の予防などについての知識の習得。より良い過ごし方について考え伝え合うことができる。	
3	球技 （ネット型）	運動の特性や、魅力、技術の名称や行い方などの知識と基本技能の習得。基本的なボール操作と仲間と連携した動きができる。	〔補充学習〕 自習課題を活用した各単元の予習、副教材を活用した家庭学習での復習、定期考査に向けた学習支援
	球技 （ゴール型 ベースボール型のいずれか）	運動の特性や、魅力、技術の名称や行い方などの知識と基本技能の習得。基本的なボール操作と仲間と連携した動きができる。	
	体育理論 （文化としてのスポーツの意義・運動やスポーツが心身の発達にあたる効果と安全）	文化としてのスポーツの意義等についての知識の習得。課題を見つけ、解決策を考え、それを他者に伝えることができる。	

技術科 第3学年 シラバス

1 年間のねらい・到達目標

生活や産業の中で利用されている技術について、材料の特徴と適した加工法を理解し、工具や機器を安全に使用しながら作品を製作するとともに、基本的な情報利用の仕組みを知り、著作権、情報モラルを考えながら体験学習を基にしたデジタル作品を制作する。

2 指定教科書

技術	1	教科書名（出版社）	技術・家庭（技術分野） 開隆堂
	2	副教材	キーホルダーキット
	3		
	年		

3 学習到達目標

- ① 材料の特徴と利用方法を理解できる。
- ② 材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用できる。
- ③ 部品加工及び仕上げができる。
- ④ 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考えることができる。
- ⑤ メディアの特徴と利用方法を知り、体験活動を基にしたデジタル作品を制作できる。

4 学習の進め方

- ① 材料の特徴と利用方法、加工法を知り、自分の作品を設計する。
- ② 設計図に基づき、工具や機器を使って作品を製作する。
- ③ 体験活動を基にしたデジタル作品を設計する。
- ④ 設計図に基づき、著作権や情報に対する責任を考えながらデジタル作品を制作する。

5 年間シラバス（1年間の学習予定）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補充学習
1	材料と加工に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の特徴と利用方法を知りながら、工具、機器の安全な使用方法を理解する。 ・加工法を知り、自分の作品を設計する。 ・自分の設計に基づいた作品を製作する。 	設計図の提出 作業工程表の提出 完成した作品の提出 定期考査による 技能、知識の理解度
2	情報に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権や情報モラルを考えながら、体験活動を基にしたデジタル作品を設計する。 	設計図の提出 作業工程表の提出 完成した作品の提出
3		<ul style="list-style-type: none"> ・設計に基づいたデジタル作品を制作する。 	定期考査による 技能、知識の理解度

家庭科 第3学年 シラバス

1. 年間のねらい・到達目標

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

2. 指定教科書

教科名	学年	教科書名（出版社）	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）
		副教材	新家庭科資料（新学社）

3. 学習到達目標

1. 販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができる。
2. 自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費者の権利と責任について理解する。
3. 幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解する。
4. 幼児の遊び道具の製作などの活動を通して、幼児の遊びの意義について理解する。

4. 学習の進め方

〈主な授業の進め方〉

- 3年生の技術・家庭の授業は、隔週となります。基本的に交互に行っていきます。（「技術」の授業を行った翌週が「家庭科」の授業となります）
- 昨年度同様、講義形式の授業では、1時間で1枚のワークシートを使って学習します。板書されなくても、授業で説明があったことについては、メモで良いので記入をしましょう。上記にあるように、授業の間隔があくので、前回のことを思い出すのに有効です。
- 消費生活に関する授業では、自分の消費行動を踏まえて、考える活動が多々あります。自分の消費行動について振り返っておきましょう。
- 製作活動では、規定の時間で課題を終えることが大切です。

〈思考力・判断力・表現力の育成〉

- 自分の考えを書く時間を設定することで、考える時間を確保し、思考力を育成する。
- 自分の考えと周りの人との考えを交流する場を設け、表現力を高める。
- 他の人の考えを聞いた後に、再考の時間を設けることで、自分の考えを深め、判断力を養う。

〈望ましい家庭学習〉

- 消費生活の学習では学習した内容に関する課題を提示する予定です。記憶が新しいうちに取り組みましょう。
- 上記にある授業中にメモしたところを、家庭で見直し、補足しておきましょう。
- 日常生活の中で、消費生活に関する話題・情報を収集するようにしましょう。

5. 年間シラバス（1年間の学習予定）

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補充学習
1	家庭生活と消費	<p>〈学習のポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ★消費生活の成り立ちについて考えよう。 ★身近な物資とサービスを知ろう。 <p>〈到達目標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆消費生活の成り立ちについて理解している。 ☆物資とサービスの違いについて理解している。 	<p>〈関心・意欲・態度〉</p> <p>ワークシート 課題 定期考査 作品</p>

	<p>商品選択と購入</p> <p>幼児の生活と遊び</p>	<p>〈学習のポイント〉</p> <p>★商品購入のプロセスを考えてみよう。 ★商品を購入するときの情報収集を試みよう。 ★店舗販売と無店舗販売の長所と短所を考えよう ★支払い方法の特徴をつかもう。</p> <p>〈到達目標〉</p> <p>☆商品購入のプロセスを考え、情報収集を行うことができる。 ☆店舗販売と無店舗販売の長所・短所を理解している。 ☆支払い方法のそれぞれの特徴を理解している。</p> <p>〈学習のポイント〉</p> <p>★幼児の体の特徴について考えよう。 〈到達目標〉</p> <p>☆幼児の体の特徴を理解している。</p>	<p>〈創意・工夫〉</p> <p>ワークシート 課題 作品 定期考査</p> <p>〈技能〉</p> <p>ワークシート 課題 作品</p> <p>〈知識・理解〉</p> <p>定期考査</p>
2	<p>幼児の生活と遊び</p>	<p>〈学習のポイント〉</p> <p>★幼児の心の特徴について考えよう。 ★幼児の生活の特徴を知り、家族の役割を考えよう。 ★子どもの成長と地域とのかかわりを考えよう。 ★幼児の遊びを支える遊具やおもちゃについて知ろう。 ★遊びを支える環境について考えよう。 ★幼児の発達の特徴を考え、おもちゃ製作に取り組もう。</p> <p>〈到達目標〉</p> <p>☆幼児の心の特徴を理解している。 ☆幼児の生活の特徴を理解し、家族の役割を考えることができる。 ☆子どもの成長と地域とのかかわりを考えることができる。 ☆幼児の遊びを支える遊具やおもちゃの役割や、環境について考えることができる。 ☆幼児の年齢や発達の特徴を考えたおもちゃを製作することができる。</p>	
3	<p>これからのわたしと家族</p>	<p>〈学習のポイント〉</p> <p>★家族とのかかわりを考えよう。 ★家族関係をよりよくする方法を考えよう。 ★これからの自分と家族とのかかわりや自分の生活について考えよう。</p> <p>〈到達目標〉</p> <p>☆家族とのかかわりを考えることができる。 ☆家族関係をよりよくする方法を考えることができる。 ☆これからの自分と家族とのかかわりや生活について考えることができる。</p>	